

お話の絵の指導

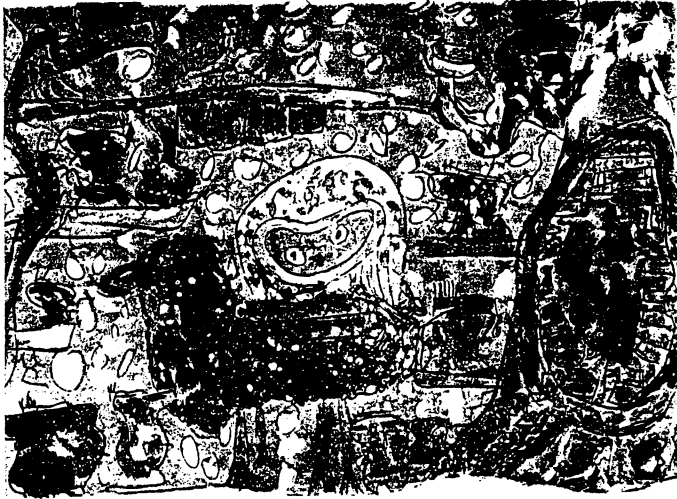
会津地方の民話

「フクロウの染めもの屋」

会津若松市立城西小学校教諭

馬場 泰

レポート



「フクロウの染めもの屋」完成作品（十二月一年男）

一、はじめに

雪国会津にはたくさ
んの民話が伝わって
いる。会津に生まれ育
った子どもたちに、機
会をとらえて、祖先の
残してくれた遺産を語
り聞かせることは、大
人にとって大切なこ
とはなからうか。それ
は子どもたちに、先
人の生活の知恵、人間
としてのやさしさやき
びしさ、思いやりの心、
自然の営みのすばらし
さなどを感じ取らせ
ることが出来るから
である。図画工作にお
いて、語り聞かせた
民話の中から一番心
に残った場面を絵に
描かせることは、子
どもたちの感動する
心をより繊細に、イ
メージ豊かに育てる
ことができるものと思
える。

二、主題設定の理由

現在担任している一
年生三十三名は、小
学入学前からテレビ
やファミコンに明け暮
れる毎日を送ってき
ている。核家族、共働

資料1. 造形の内容面でのねらい

心 情 面	育てたい心	<ul style="list-style-type: none"> ・わがまな言動をつつしむことが大切なおもしろさがある。 ・民話の素朴な表現の楽しさ、描きあげる喜びがわかる。
	構図	自分の主題内容を確かにするために、ものもの大の区別を、考える。画面の左右など。
造 形 の 内 容	形	フクロウやカラスの動き、まわりの木、かめや刷毛、のれんなどの形を工夫する。大小、左右対象、線の強弱、遅速、曲線など。
	色	概念色から固有色へ脱皮させる。フクロウやカラスを見せる。白を混ぜて使う。具の透明表現技法に慣れる。
	空間	遠近と広がりを画面の上下に左右ととらえ、背景などを描く。

よる親子間の触れ合いの時間が少ないうえに、テレビ・漫画等の限定されたイメージによる昔話との対面などから味わっているとはいえそうにない。このような子どもたちにお話の絵を描かせることは、今の時代だからこそ必要なのではないだろうか。

そこで、次の理由から、「フクロウの染めもの屋」を教材として選び実践することにした。

(一) 会津地方に昔から伝わる郷土の民話であり、親しみやすい鳥が登場するので、お話の中にすぐとびこめる。

(二) ものごとの起りを語る民話の一つで、この期の子どもの好奇心に十分訴えるものがある。

(三) お話の中に色彩的イメージが豊かに盛り込まれていて、絵画的である。

(四) 学校の前や学区内に何軒かの染めもの屋があり、地域の中でも比較的

身近な店としてとらえることができる。フクロウが染めもの屋を始めるというお話にも素直に入っている。(五) みんなで仲良く集団生活をしていく中で、一人がわがままな言動をとるとみんなに迷惑をかけるし、結局は自分も困った事態になるという人間としての生き方の問題が含まれている民話であり、集団生活に慣れ始めた一年生に自分たちの言動を省みさせるのに適した内容である。

三、研究の目標

会津地方の民話に親しみ、心に残った場面を描かせることにより、感動する心を繊細に、イメージ豊かに育てる。

四、研究の仮説

絵の構成要素になりそうなものをス